

R5.10.1 全日本小学生優勝大会・北信越大会の経歴と考察（明日を担うちびっ子を育てよう！）

R5.10.1富山県版 岩井中作成

回	年	4年生以下の部				5年生の部				6年生の部				石川	新潟	富山	長野	福井
		1位	2位	3位		1位	2位	3位		1位	2位	3位						
16	25年	石川	新潟	石川	新潟	石川	浦山 秀誠	田畑 海昇	新潟	五十野陽太	新潟	石川	新潟	4	4	3	0	0
17	26年	長野	清水 啓太	福井	新潟	石川	新潟	福井	松下 幸佑	石川	石川	浦山 秀誠	長野	3	3	3	2	1
18	27年	谷村 竜喜	越田 隼哉	福井	石川	長野	石川	福井	清水 啓太	新潟	石川	新潟	新潟	3	3	3	1	2
19	28年	福井	新潟	高島 一人	新潟	新潟	五十嵐 翔	谷村 竜喜	福井	新潟	長野	堀田 真裕	福井	0	4	4	1	3
20	29年	浦山 将瑛	小林 幹大	石川	石川	石川	長野	高島 一人	新潟	五十嵐 翔	新潟	石川	福井	4	2	4	1	1
21	30年	石川	新潟	新潟	長野	浦山 将瑛	石川	石川	新潟	長野	新潟	福井	石川	4	4	1	2	1
22	R1年	新潟	石川	石川	石川	石川	新潟	新潟	石川	石川	浦山 将瑛	石川	長野	7	3	1	1	0
23	R2年	中止												中止				
24	R3年	福井	新潟	星場蓮3年	石川	新潟	犀藤 源太	石川	石川	石川	新潟	石川	石川	6	3	2	棄権	1
25	R4年	長野	福井	星場 蓮	石川	石川	石川	新潟	石川	石川	犀藤 源太	長野	直江 宙頼	5	1	3	2	1
26	R5年	新潟	新潟	高森心也3年	新潟	新潟	老月隆人	武市 篤彦	星場 連	長野	石川	石川	上田 恭輔	2	4	5	1	0
累計 (H25～R05 過去実質10年間)										過去10年間の入賞者数				38	31	29	11	10
北信越代表 全12名枠÷5県⇒ 2.4人/1県当たりが全国大会(国技館)へ出場										過去10年間の平均入賞者数				3.8	3.1	2.9	1.1	1.0
学年別入賞		新潟12名、石川11名、富山9名				石川13名、富山12名、新潟11名				石川14名、富山8名、新潟8名				4年より6年の入賞数が評価？				

1 富山県は10年ぶり(H24年に4名)に歴代初の5名入賞。団体は2勝6点で3位(優勝新潟4勝、2位石川3勝)。

4年生は体位(身長・体重)がある新潟県が特出。5年生は富山県が多数(今後が楽しみ)。6年生になると指導者の厚い石川県が入賞(中学選手へのステップ:実践力)。

2 各県の特筆

富山県は、第1～14回まで毎年1～2名で全く非力であったが第15回(H24)より3～4名が入賞。これは指導力の向上の賜と思われる。

石川は、『基本』がしっかりしており指導が素晴らしく5～6年生になると活躍 ⇨ 小中高・大学・社会人と常に全国トップレベル。

新潟は 毎年体位(身長・体重)が素晴らしい選手がパワー溢れる相撲で多数入賞 ⇨ 小中高・大学・社会人へと成長。全国トップレベル。

長野は、時々特筆した選手が出てくるが選手層は薄い。

福井は、連盟の組織力が弱いのか小・中・高・大学・社会人と振るわない状態が続いている。

北信越小学生の実力は、全国大会では『レベルの高さや壁の厚さを痛感』しており、明日を担う選手の発掘と育成が望まれる。

一方 近年の高校・大学・社会人の北信越の選手は 全国のトップクラスである。

3 優秀な選手の特徴

- ① 相撲の形が出来ている(腰が割れて、立ち会い鋭くおでこをつけて脇を締めぶつかり、そのまま寄り切るか押し出す) ⇨ 練習の成果が出て安定感が有。
- ② 常に前へ出る。自分から仕掛ける。投げは思い切ってかける。試合中、体がぶれない。最後まであきらめないで対応する。積極的である。
- ③ 同学年では並外れた体位やパワーにより相手選手を圧倒。逆に小柄でもスピード感を活かし、懐に入ったり横攻めにより技をドンドン仕掛ける。

4 好ましくない選手の特徴 (⇨ なんと言っても基礎や経験不足。踏ん張りが出来ない。攻め方や守り方が解らない・・・)

- ① まず『相撲の形』が出来ていない。立ち会い一機に押し寄せ寄り切りか押し出される。経験不足であるのか躊躇して攻めが遅い。
体位が小さく体力負け。相手に攻められると回り込まないでそのまま真後ろへ下がればなしとか、捨て身の投げを打ち自滅。

5 指導者へ・・・子供達へ情熱と継続して選手の発掘と育成を！ (単に強さを求めるだけでなく、社会教育としての人間形成も！)

- ① 代表選手は、県内トップクラスであり『存在能力』は充分ある。いかにアドバイスして伸ばすか？ あなたの指導力にかかっている。
- ② 指導者は『自分の過去の栄光による経験も大切だが』他人の意見も聞き、教本や文献やTVなどを見ながら『常に研鑽する素直な姿勢』も大切。
- ③ 継続した練習の場を持つ。例・・・相撲教室の開催、学校や地域での相撲大会の応援、各大会へ向けての指導、室内土俵による年間活動。
- ④ 相撲を通して ⇨ 頑張る、あきらめない、いろんな人と出会いを大切に、経験を積む・・・ そんな『人作り』も大切に。

富山県は、合同練習や各相撲教室において優秀な若手指導者により向上。今後も『選手の発掘と育成(基本の修得)・中高校や社会人への継続』が急務！